

埼玉親善大使レポート-ニュージーランド-  
明治学院大学 心理学部 教育発達学科

植山叶翔

渡航国名：ニュージーランド

就労先：Scenic Suites Queenstown/Steak House Brazz/Café  
society



➤ はじめに

本レポートを執筆するにあたり、埼玉県親善大使を委嘱していただいたこと心から感謝申し上げます。いただいた奨学金が、私の現地での生活を非常に有意義なものとしてくれました。海外の生活で得たことをぜひ故郷である埼玉に還元したいとの思いを強くする一年となりました。重ねて御礼申し上げます。

➤ 埼玉についてのアピール事情

本項では、現地で私がどのように故郷の埼玉について話していたのかについて綴りたく存じます。私が居住していたのは「クイーンズタウン」と呼ばれる小さな街で、人口は1.7万ほどと多くありません。

しかし、スキーリゾートやワイン・街に面するワカティプ湖などの観光資源が豊富で、常に観光客で溢れかえっています。そのため、当然お酒を楽しむ場も多いのですが、ただでさえフレンドリーな海外の方々にアルコールが入ればもうそこに友達も友達以外もありません。隣にいれば

”How’s it going?”(調子どう?)

とか

”Where are you from?”(出身はどこだい?)

とかひたすらに話しかけてくれます。そういう時私は、出身地について「日本だ」と答えるのですがほとんどの場合、話はそこで終わりません。

“Ok. Whereabouts?”(日本のどこだい?)

と必ずと言っていいほど聞かれるのです。

ここで「埼玉だ」と答えてもほとんどの人はわかりませんので名前とともに、東京の北に位置していることや川越という文化的な街並みや体験が楽しめるいいところがある、などと説明すると大体の人はそれなら東京に行くついでに寄ることができる、と興味を示してくれました。

これが最も多いパターンです。

しかしある時、“Saitama”という音の並びを聞いて目を輝かせる青年がいました。当時の私は、東京などと比べれば知名度で並ぶことはないはずなのになぜ?と驚くとともに何かと



職場の仲間との一枚

勘違いしているのではないかと考えました。しかしその次の瞬間、私は事の次第を把握することになるのです。

“One punch Man!!! Right??”

そうです。漫画「ワンパンマン」の主人公「サイタマ」です。日本の漫画・アニメ文化は世界でも愛されている、というのは紛れもない事実らしく日本人だと明かすとワンピースやナルトについて熱く語ってくれる外国の方がたくさんいらっしゃいました。「ワンパンマン」も例に漏れず人気作品の一つのようで、それゆえに“Saitama”という音の並びに聞き覚えがあるという人が少なからずいたのです。

彼の名前は自分の故郷の名前に由来するものだ、と伝えると多くの人は非常に興味を持って話を聞いてくださいました。漫画・アニメは世界を繋ぐ、というのは真実なのだと言うと強く実感する経験となりました。

#### ➤ 狭山茶を飲んでもらう

前項で述べたように外でお酒を飲んでいる時も埼玉について話す機会はたくさんありました。しかし仲良くしていた友達にはもっと埼玉の魅力を知ってもらいたい、とのことで何人かには狭山茶を実際に飲んでもらいました。

狭山茶と一緒に満面の笑みを浮かべるのはメキシコ出身の「ホアキンくん」です。彼と狭山茶を飲んだ時について対話形式でお送りします。

植山：メキシコではお茶はよく飲んでいた？

ホアキン：よく飲むよ！紅茶とかハーブティーが多いかな！

植山：狭山茶の色味はどう？

ホアキン：悪くないね。香りがあんまりしないけど

--いざ試飲---

ホアキン：んん、ちょっと苦いけど、甘みを感じるね！

美味しいよ！

こんな形で外国の方にも好評の我が「狭山茶」でした。

向こうにはお茶を入れる急須はなかったためコーヒープランジャーを代用してお茶を入れました。※2

試飲後には茶葉をそのままプレゼントしたためこの笑顔を写真に収めることができたというわけです。※1

#### ➤ あとがき

以上が私の現地での生活と親善大使としての活動内容の一部です。私の現地での行動が埼玉の魅力を広めることに少しでも貢献できていればとても嬉しいことだと存じます。



※2